

消費支出の対前年同月実質増減率に寄与した主な品目等

	2016年2月 対前年同月(寄与度) 実質増減率
< 増加品目 >	
食料	
穀類	5.4% (0.11)
調理食品 ・弁当	18.0% (0.07)
飲料	8.8% (0.11)
外食	4.2% (0.16)
保健医療	
保健医療サービス	15.1% (0.37)
交通・通信	
自動車等関係費	
・自動車購入	3.0% (0.09)
・自動車等関連用品	51.4% (0.14)
通信	
・移動電話通信料	16.5% (0.56)
< 減少品目 >	
光熱・水道	
電気代	-0.9% (-0.05)
ガス代	-6.5% (-0.20)
他の光熱 ・灯油	-8.4% (-0.10)
家具・家事用品	
家庭用耐久財 ・エアコンディショナ	-55.6% (-0.14)
被服及び履物	
洋服	-5.6% (-0.08)
シャツ・セーター類	-14.4% (-0.09)

2 月分の消費支出における「うるう年」の影響に関する試算

1. 日数の影響

4 年に一度のうるう年における 2 月の日数は 29 日で、通常の年より 1 日多くなっているため、消費支出やその内訳を見る際には留意が必要である。

2. うるう年による影響として消費支出の対前年同月実質増減率を 2.7 ポイント押し上げ(試算)

家計調査では、月極めで支払う場合が多い品目^{注1}を除いた日別支出の結果表^{注2}を公表している。この結果を利用して、うるう年である平成 28 年(2016 年)2 月 29 日の消費支出分を除き、前年と日数を合わせて消費支出を試算してみると、対前年同月実質増減率は 1.5%の減少となり、公表値の方が 2.7 ポイント高い結果となっている(表)。

表 うるう年調整後の消費支出(二人以上の世帯)

項目	支出金額(円)				対前年同月実質増減率(%)		
	2015年2月 公表値	2016年2月 公表値	2016年 2月29日 ^{注3} 公表値	2016年2月 うるう年調整後 試算値 (-)	公表値	うるう年調整後 試算値	差(-) (ポイント)
消費支出	265,632	269,774	7,043	262,731	1.2	-1.5	2.7
食料	65,046	69,018	1,993	67,025	3.3	0.3	3.0
住居	15,230	14,717	153	14,564	-3.7	-4.7	1.0
光熱・水道	31,846	28,570	55	28,515	-3.2	-3.5	0.3
家具・家事用品	8,285	7,929	340	7,589	-4.9	-8.9	4.0
被服及び履物	8,788	8,435	230	8,205	-6.3	-8.9	2.6
保健医療	11,998	13,649	502	13,147	13.1	8.9	4.2
交通・通信	39,687	40,345	1,552	38,793	3.9	-0.2	4.1
教育	9,386	11,264	2	11,262	17.9	17.9	0.0
教養娯楽	24,233	25,210	401	24,809	1.8	0.2	1.6
その他の消費支出	51,133	50,637	1,815	48,822	-1.4	-4.9	3.5

注1) 学校給食, 家賃・地代, 火災・地震保険料, 電気代, ガス代, 上下水道料, 家事代行料, 清掃代, 定期代(鉄道, バス), 有料道路料, 年極・月極駐車場借料, 保険料(自動車, 自動車以外の輸送機器), 電話通信料(固定, 移動), 授業料等, 補習教育, 新聞, 月謝類, 放送受信料, インターネット接続料, 保育費用。

注2) 用途分類は第6-15表, 品目分類は第6-16表。ここでは, 用途分類第6-15表を利用。

注3) 月末である29日の支出を除くこととした。